

0歳児の見守り事業について

～おむつセット定期便による虐待防止と育児負担の軽減に向けて～

1 目的

0歳児の間は特に、子どもを連れての外出が困難であり、家に閉じこもりがちになるとともに、外からの情報が入りにくく、地域で孤立や支援を求めにくい環境に陥ることがあります。また、不安やストレスを抱え込みやすく、人によっては産後うつや育児ノイローゼに陥る時期でもあり、国の報告のとおり、虐待の重篤な事例が最も多い時期でもあります。

明石市においても、明石こどもセンターの相談件数が2019年上半期で前年度の約7割に達していることや、明石市子育てモニターの調査でも1歳までの時期が最も不安や負担を感じているという現状があります。

児童相談所を設置し、すべての子どもたちの健やかな成長を、まちをあげて応援していく明石市として、最もリスクの高いといわれる0歳児に対して、毎月、定期的に関わりを持ち、不安や悩みを聴きながらしっかりと見守りを実施していきます。また、見守りのツールとして、おむつなどの赤ちゃん用品や市の子育て情報を無償で提供します。

この時期はおむつなどの「生活消耗品」の支出額が他の年齢層に比べると大幅に多くなっていることから、おむつの無償支給が0歳児家庭への経済的負担の軽減や、赤ちゃんを連れての買い物に対する負担軽減にもつながります。

来年度の事業として、すべての子どもの命を守るため、0歳児の時期に定期的に関わりを持ち、関係性を築いていく中で早い段階で様々なことに気づき、子どもと保護者に寄り添った手厚い支援に繋げていくことで虐待を予防していきます。

2 事業の概要

子育て経験のある配達員が、不安や心配ごとがないかなどの声をかけ、赤ちゃんの健やかな成長に役立つ様々な情報をお届けします。また、保護者や赤ちゃんと出会うきっかけとして、おむつなどの赤ちゃん用品とともに、「おむつセット定期便」として配達します。

（1）定期的な見守りと子育てサポート情報の提供

おむつ等生活消耗品を配達する際に、子育て経験のある配達員が、配達ごとに不安や心配なことがないかなど声を掛け、見守るとともに、赤ちゃんの健やかな成長に役立つ様々な子育てサポート情報をお届けします。

気になる様子があったり専門職の対応が必要な場合は、こども健康課や明石こどもセンター等関係機関と連携し、必要な子育て支援サービスに繋がります。

(2) 赤ちゃん用品の配達

0歳児の赤ちゃんへ月3,000円相当の紙おむつ等の生活消耗品を、市が委託事業者を通じて定期的に自宅まで配達し、提供します。

3 対象者

0歳児（生後3か月から満1歳の誕生日まで10回配達）

4 業務委託の概要

- (1) 内 容 おむつ等の配達及び配達員による見守り・子育てサポート情報の提供
- (2) 選定方法 公募型プロポーザル方式
- (3) 期 間 令和2年度から令和4年度まで

5 スケジュール（案）

令和2年 2月	令和2年3月議会に当初予算案を上程
令和2年 3月	公募型プロポーザル方式による受託者選定開始
令和2年 5月	契約後、業務開始前準備の開始
令和2年 7月	事業開始
令和2年10月	おむつ等の配達開始

6 他市の状況

おむつ等を無償で提供し、配達員による見守りを行う事業については、滋賀県東近江市、甲良町で実施しています。

東近江市の事業につきましては、令和元年8月に一般社団法人日本子育て機構のイクハク・ベスト育児制度賞を受賞しています。

【参考データ】

- ① こども虐待による死亡事例の検証結果等（第15次報告）
（社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会より）
 - 死亡した子どもの年齢 : 50人中、「0歳」・・・28人（53.8%）
 - 重症となった子どもの年齢 : 7人中、「0歳」・・・3人
- ② 明石こどもセンターの児童虐待にかかる相談件数
 - 2019年度上半期 : 260件（前年度実績の約7割）
 - 2018年度 : 382件
- ③ 明石市子育てモニターの声
 - 令和元年11月調査
子育て中に最も不安や負担を感じた時期: 1歳頃まで・・・82人/107人中（75.2%）
 - 意見・要望
定期的に継続して訪問してもらえるサービスがあると有難い
育児用品の宅配サービスなどがあると嬉しい